

公益社団法人 日本技術士会 関東甲信県支部防災連絡会 議事録

件名	(公社)日本技術士会 第1回関東甲信県支部防災連絡会	
1.日時	2021年3月11日(木) 13:00~14:30	
2.場所	WEB会議	議事録作成担当 伊藤 元
3.出席者 (敬称略)	<p>寺井和弘(会長), 柿谷均(理事・総務委員会委員長), 吉沢清春(理事・社会委員会委員長)</p> <p>神奈川県支部 太田芳雄(副支部長兼社会委員会委員長), 小原丈二(防災支援小委員会委員長), 桑江良明(防災支援小委員会副委員長), 松浦弦三郎(防災支援小委員会委員)</p> <p>千葉県支部 尾頭誠(幹事), 岡部政美(幹事), 江藤政継(防災支援委員会委員長)</p> <p>茨城県支部 高橋正衛(支部長), 手島久(防災支援PT取り纏め)</p> <p>長野県支部 小口雄平(支部長), 山浦直人(企画業務委員会委員長), 池田弘美(企画業務委員会副委員長)</p> <p>栃木県支部 黒須重富(支部長), 福田一郎(副支部長), 亀田則男(幹事)</p> <p>埼玉県支部 増古恒夫(支部長), 近藤孝(地域産業支援委員会委員長), 松本良一(地域産業支援委員会防災支援グループリーダー)</p> <p>本部(防災支援委員会) 野村貢(委員長), 下條信幸, 加藤裕保, 新井田有慶, 奥谷光夫, 中村久雄, 伊藤元(以上統括本部), 天羽誠二(四国本部), 持田拓児(九州本部)</p>	
4.配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(P1), 手順書(P2), 参加者名簿(P3), 防災支援委員会名簿(P4) ・県支部活動, 組織説明(P5-16) ・本会議へ望む防災支援・連携活動(P17-24) 	
5.確認・審議・報告事項	<p>野村防災支援委員会委員長が司会となり, 以下のとおり議事を進行。</p> <p>【挨拶】(寺井会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 近年の災害は未曾有の災害, 想定を超える外力が働くものが発生している。 ➢ 想定を超える外力に対して人工物は脆弱。これを物理的に強靱化するだけでなく, システム全体を通じて強靱な社会システムを構築する必要がある。 ➢ そのためには, 多様な技術分野や, 各地域の技術を集めるプラットフォームが必要。この防災連絡会を通じて, 地域間連携を図っていくこととしたい。 <p>【会議の趣旨説明】(野村防災支援委員会委員長)</p> <p>※ 準備会時の資料に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 関東甲信には, 南海トラフ地震, 首都直下地震のほか, 懸念される活断層地震が多く存在し, 広域地震災害のリスクが高まっている。 ➢ 2019年の台風15号, 19号災害では, 広域で同時に浸水被害が発生するを経験。 ➢ 一方で, 土業連携などの防災支援活動において, 技術士, 日本技術士会への期待は高まっており, 行動を共にする機会も増えてきている。 ➢ しかし, 関東甲信地域には, コアとなり県支部間の連携を取り, 技術士, 日本技術士会の広域での活動や支部間協力を支援する組織形態がなかった。 ➢ この状況を改善するため, まずは関東甲信県支部相互の防災情報や取り組みを共有する連絡会議を設置したい。 <p>【自己紹介および県支部活動, 組織の紹介】</p> <p>※ 県支部活動, 組織説明について, 配布資料に基づき紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県支部(小原防災支援小委員会委員長) <ul style="list-style-type: none"> ➢ 4つの委員会(総務, 研修, 技術士活性化, 社会)を設置。防災支援は社会委員会が担当。 ➢ 横浜市まちづくり支援制度の登録団体として, 防災まちづくり支援を実施。 ➢ 大規模災害対策土業連絡協議会の会員として, 被災自治体への相談支援実施。2019年台風19号の際には, 相模原市の要請を受け, 8土業で対応。 ➢ 防災関連のCPD講座として, 講演会や見学会を開催。 	

・千葉県支部（江藤防災支援委員会委員長）

- 幹事会のほか、9つの委員会を設置。その1つが防災支援委員会。
- 3年ほど前に、千葉市と防災協定を締結。依頼を受けて協力するが、まだ事例はない。
- 企画委員会と共同で「防災の日」防災講演会を実施（2013年より年1回：9月第1土曜日）
- 防災に関する市民活動
 - ① 「ふなばし市民活動フェア」への参加（2月第1土曜日）・ポスター出展（12月～2月）
 - ② マンション・団地自治会、防災活動組織への協力（年2～3回要請あり）
- 一昨年より、千葉県防災対策士業ネットワークに加盟。一昨年は台風被害調査を実施。昨年は弁護士会と共催で講演会を実施。千葉市の後援を得て実施している。
- 外部組織開催の防災シンポジウム等へ参加。

・茨城県支部（高橋支部長）

- 役員会のほか、5つの委員会（総務、研修、広報、業務・地域貢献、県南）を設置。
- 防災については昨年プロジェクトチームが立ち上がったところで、まだ組織には組み込んでいない。
- 防災関連の活動として、CPD講演会、常総地区のまち歩き、見学会などを実施してきた。
- いばらきオープンテクノフォーラムに毎年参加。防災の中でITが果たす役割が大きいと考えており、ITと防災を組み合わせる活動を考えている。
- 手島さんが背中に「技術士」と書かれたつなぎを着て被災地で活躍。明日から福島に行く。

・長野県支部（小口支部長）

- 役員会、3つの委員会のほか、防災担当を設置。
- 県支部の活動として、年6回CPD講演会を実施し、1回は防災研修。令和元年千曲川水害2014年長野県北西部地震などをテーマに実施。

・栃木県支部（黒須支部長）

- 3つの事業部門（総務、事業、公益）に分け、公益部門の地域社会小委員会に防災連絡会を設置。
- 技術講演会を企画（大半はコロナ禍のため実施できず）。その中の一つとして、社会ストックの活用をテーマに、2019年豪雨災害を事例に挙げて実施。
- 栃木県には防災士会があり、ここが県や市町村の支援をしている。防災士会に入っている技術士が防災士会の役員を兼ねている。また県庁OBの技術士が災害復旧アドバイザーを実施。県支部にも防災委員会を設置したが、既存の活動とのすみ分けが課題。

・埼玉県支部（増古支部長、近藤委員長、松本防災支援グループリーダー）

- 5つの委員会のうち、地域産業支援委員会内に防災支援グループを2019年に設置。現在9名で活動。
- 昨年9月より、立正大学で特別講義を実施。学生をDIG（図上演習）のファンリテータとして養成することが目的。
- 埼玉大学の防災ビジネス研究会とも共同で活動。学園祭で防災クイズを提供するなど。
- SDGsに関するCPDも実施。
- 2019年9月に、次の2つの目的で発足した、防災支援グループの活動状況を報告。具体的内容は配布資料の様式-3に記載した。
 - 防災支援グループの目的
 - (1) 市民講座などの開催を支援して防災支援活動を広める第1歩とする。
 - (2) 防災支援グループメンバーがDIGを実施できるスキルを身に付ける。

【県支部が望む防災支援活動、期待される活動】

- ※ 本会議へ望む防災支援・連携活動について、配布資料に基づき紹介。
- 市民参加によるDIG（図上演習）の取り組みを紹介（埼玉、P23-24）。本部での予算化を要望。
- 関連して、支部会員が所属する栃木県防災士会が県から委託を受けて17市町村で実施した地区防災計画策定事業（防災講演、DIG、HUG研修、防災マップづくり、計画づくり）支援活動について

紹介(栃木)。

- 学校との連携活動について質問(埼玉)。作新学院大学との連携について説明(栃木)。
- 被害の少ない地域から被害の大きい地域への支援, そのための手順書作成を提案(神奈川, P13)。
- 自治体との協定締結についてノウハウ提供の要望(茨城, P19)。統括本部で作成した手引書を紹介(本部)。
- 災害前、災害時、災害後の各段階において効果が最大限に発揮できる事項, 技術士会の役割を絞り込む活動を提案(栃木, P22)。

【今後の会議ほか】

- 今後も連絡会を定期開催する。
- 次回は9月1日(水)午前。
- 本日の説明資料はHPで公開したい。(問題がある場合は野村委員長に連絡)

【挨拶】(柿谷総務委員長)

- 昨年, 総務委員長と関東甲信の支部長との懇談会を企画したが, コロナ禍のためにとん挫した。関東甲信の支部へのスムーズな情報提供は, 大きな課題の1つ。
- 関東甲信支部の地域活性化において, 防災は重要なポイントと考えている。引き続きこのような機会を通じて勉強させて頂きたい。

以上